

三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事

設計図

図 面 リ ス ト					
建 築 工 事					
A-01	建築工事特記仕様書（改修）1	A-21	渡り廊下 改修後 断面図		
A-02	建築工事特記仕様書（改修）2				
A-03	建築工事特記仕様書（改修）3				
A-04	建築工事特記仕様書（改修）4				
A-05	建築工事特記仕様書（改修）5				
A-06	建築工事特記仕様書（改修）6				
A-07	配置図兼仮設計面図（案）				
A-08	研究棟 現 況 1階平面図				
A-09	研究棟 現 況 2階平面図				
A-10	研究棟 改修前 3階平面図				
A-11	研究棟 改修後 3階平面図				
A-12	研究棟 現 況 4階平面図				
A-13	研究棟 現 況 5階平面図				
A-14	研究棟 改修前 屋根伏図				
A-15	研究棟 改修後 屋根伏図				
A-16	研究棟 改修後 断面図1				
A-17	研究棟 改修後 断面図2				
A-18	研究棟 改修後 部分詳細図				
A-19	渡り廊下A、C 改修前 平面図				
A-20	渡り廊下A、C 改修後 平面図				

公益財団法人

三重県建設技術センター

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称

三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事

II. 工事概要

屋上防水改修工事

1 工事場所

三重県津市夢が丘 1丁目 1番地 1

2 敷地面積

52,211.44㎡

3 工事内容

棟名称

研究棟、渡り廊下A、C

構造

研究棟（RC造5階建）、渡り廊下A、C（RC造平屋建）

建築面積

研究棟（ 473.70㎡）、渡り廊下A（234.46㎡）、渡り廊下C（132.35㎡）

延べ面積

研究棟（2,376.44㎡）、渡り廊下A（234.46㎡）、渡り廊下C（132.35㎡）

工事項目

屋上防水改修

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。

①

一般共通事項

① 適用基準等

1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁営繕部監修（令和4年版）
2）建築工事標準詳細図
国土交通大臣官庁営繕部監修（令和4年版）

② 施工条件

(1.3.5)

○ 監督員と協議し決定する。
施工可能日
・ 指定なし
・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり
施工可能時間帯
・ 指定なし
・ 時 ～ 時
概成工期
・ 指定なし
・ 年 月 日
○ 大学行事を優先すること。
○ 講義の妨げにならない様、騒音に注意すること。

3 部分引渡し、部分使用

・ 部分引き渡しあり
・ 部分使用あり
指定部分（
時 期（平成 年 月 日～ ）

4 埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。
・ 発掘調査等の実施あり
・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり

⑤ 発生材の処理等

(1.3.12)
本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

○ 引き渡しを要するもの ○ 無
・ 特別管理産業廃棄物
・ 現場において再利用を図るもの
・ 再資源化を図るもの
・ 処理方法（ ）
・ コンクリート塊
・ アスファルトコンクリート塊
・ 建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。）
成形板等の解体・撤去にあたっては、事前にアスベスト含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。

⑥ 建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。
また、工事着手前にはJACIOが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑦ 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

8 電気保安技術者

(1.3.3)
適用する

⑨ 技能士

(1.6.2)
職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

⑩ 施工数量調査

(1.5.2)
調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による

11 調査のための破壊部分の補修

(1.5.3)
補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

⑫ 建築材料等

1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。

13 化学物質の濃度測定

(1.6.9)
測定対象化学物質（●で示したものとする。）

通用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
学校、教育施設	●	●	●	●	●	●	●
住宅	●	●	●	●	●	●	●
その他	●	●	●	●	●	●	●

測定対象及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）
測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法）
報告書提出部数 2部
改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁営繕部（平成28年版））に従い撮影する。電子納品とし、次のものを提出する。
① 部数は「19 電子納品」を参照

作成する（ ○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ） ）
完成図作図範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等）
完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用权は発注者に移譲するものとする。

デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。（ A 4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
・ アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー） 1部

工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数 ・ 3部 ・ 部）
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数 ・ 3部 ・ 部）

施工範囲
○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ

施工図
○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

本工事中において、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方は三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。

本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加点（満点）の1割を減点します。

暴員団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について
1） 受注者は暴員団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うこと。
2） （1）により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
3） 受注者は暴員団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

26 消防提出書類
1） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事
2） 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

27 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間
1） 現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
2） 検査終了後の期間
検査完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

28 工事の一時中止に係る計画の作成
三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に關すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に關すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

29 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置
労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

30 建築基準法に基づく風圧及び積雪荷重
建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 V0=34 m/s
地表面粗度区分（ ・ II ・ III）
積雪区分（ ）cm

① 火災保険等

三重県建設工事請負契約書52条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に参加し、その加入証券等を提示しなければならない。
1） 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
2） 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間
3） 保険金額 原則として請負金額に相当する金額

② 不正経油の使用の禁止

1） 一般事項
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正経油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2） 調査の協力
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3） 是正措置
受注者は、不正経油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正経油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33 技術検査

中間技術検査
実施回数 ・ 回
実施する段階 ・ （ ）

④ 保全に関する資料

○ 2部 ・ （ ）

35 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。
適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である建設業者を下請契約（受注者が直接締結する請負契約に限る。）の相手方としてはならない。
下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

「主任技術者又は監理技術者が兼任できる請負金額について（平成31年3月20日付け県土第03-247号）」を適用する。

⑥ 主任技術者又は監理技術者の兼任

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じうえて、工事を実施すること。

⑧ 現場での安全確保（自主施工原則）

三重県公共工事共通仕様書第1章1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。
なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

⑩ 設計図書の照査

○ 石綿含有建材の事前調査
調査範囲 ○ 改修部分のすべて ・ （ ）
資与資料 ○ 既存の設計図書 ・ 石綿含有建材の調査報告書 ・ （ ）

⑫ 石綿含有建材の調査

・ 分析調査
分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析法	定量分析法
	JIS A 1481-1～2 ・ 個所数（ ）	JIS A 1481-3～5 ・ 個所数（ ）

サンプル数 1個所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図面（図面番号： ） ・ （ ）

② 仮設工事

① 足場

(2.2.1)
(表2.2.1)
設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)手すり据置き型式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
内部足場の種別 ・ 脚立 ・ 足場板 ・ （ 枠組欄足場、単管足場 ）
外部足場の種別 ○ （ 枠組 ）
防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない

2 既存部分の養生

(2.3.1)
既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（ ）
保管場所 ・ 構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
・ 行う ・ 行わない

3 仮設間仕切り

(2.3.2)
(表2.3.1)
屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種
合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ）
せっこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ （ ）
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない
仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ）
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種

4 監理事務所

(2.4.1)
・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する ・ 設置しない
監理事務所の規模(単位:m)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
------	------	------	------	------	-------

監理事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	装溶融垂れめっき銅板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

5 監理事務所の備品等

(2.4.1)(b)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	3 組	1 台	1 個	1 個	1 個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	5 足	5 着	5 個	3 個	3 台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	1 個	1 個	1 台	1 台	1 台

備考

公益財団法人
三重県建設技術センター

Job Title

三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事

Drawing Title

建築工事特記仕様書（改修） 1

設計担当者

DATE

2025 - 07

SCALE

No Scale

A - 0 1

②
仮
設
工
事

⑥ 仮設便所

構内既存の施設
・ 利用できる ☐ 利用できない

⑦ 工事用水

構内既存の施設
☒ 利用できる (☐ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない

⑧ 工事用電力

構内既存の施設
☒ 利用できる (☐ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑨ 交通誘導警備員

配置 ☒ 図示 (図面番号: A-07)

③
防
水
改
修
工
事

1 アスファルト防水
(3.1.4)
(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

工 法
・ PIB
・ PIE
・ P2E
種 別
・ B-1 ・ B-2 ・ B-3
・ E-1 ・ E-2
施 工 箇 所

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, T1B1, P0D1, M3D1, M4D1)
材質 ・ ()
・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b (スキンあり)
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号
厚さ ・ ()
ルーフトレンドリ及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)
脱気装置 (M3D, P0D, P0D1, M3D1, M4D1)
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()
保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
屋上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材 ()
・ れんが (材種 ・ JIS R1250)

(3.3.2)

(3.3.3)(b)2
(3.3.3)(C)
(3.3.5)

2 改質アスファルトシート防水
(3.4.2)

改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, P0AS1)
材質、厚さ ()
図示 ・ ()

(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3)

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
(3.5.2)

ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()
絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()
断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1)
材質、厚さ ()
・ 図示 ()

(3.5.3)
(表3.5.1)～
(表3.5.3)

(3.5.3)

(3.5.4)

④ 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(a)
(3.6.3)(b)

工 法
・ POX
・ L4X
種 別
・ X-1 ・ X-2
施 工 箇 所
研究棟、渡り廊下屋上
仕 上 塗 料
珪酸エポキシ
脱気装置
・ 設ける (設置数量 ☒ 図示 (図面番号: A-11, 15, 20)、材質 (SUS))
・ 設けない
工 法
・ P1Y
・ P2Y
種 別
・ Y-2
施 工 箇 所
保護層 ・ 図示 (図面番号:)

5 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6)(c)(2)
(3.2.6)(c)(6)

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)
(L4X)
・ 行う ・ 行わない
・ 行う ・ 行わない

⑥ シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)

材料
種類
・ SR-1
・ SR-2
・ MS-2
・ PS-2
・ PU-2
材種
シリコーン系
シリコーン系
変成シリコーン系
ポリサルファイド系
ポリウレタン系
施工箇所
ガラス
・ 建具枠周リ
伸縮目地・打継目地

(3.7.4)～

工 法
・ シーリング充填工法
☒ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
(ボンドブレイカー幅 mm、エッジング材幅 mm)
シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験
・ 引張接着性試験 ☒ 行わない

(3.7.8)

7 とい
(3.8.2)
(表3.8.1)

材種
・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)
・ ()
工 法
・ 図示 (図面番号:)

8 アルミニウム製笠木
(3.9.2)(c)
(表3.9.1)

部材の種類
・ 押出し250形
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())
固定金具の間隔 (mm)
固定方法 ・ ()
表面処理 ・ ()
工 法
既存笠木等の撤去
下地補修の工法
板材折曲げ形の笠木の取付方法
笠木固定金具の工法
・ 図示 (図面番号:)
・ 図示 (図面番号:)
・ 図示 (図面番号:)
・ 図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

(3.9.3)(b)
(3.9.2)(d)
(3.9.3)

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

・ 行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・ ()
調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類
(4.1.4)
(4.1.5)

外壁 種類 改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁
ひび割れ部
欠損部
・ 樹脂注入工法
・ Uカットシーリング材充填工法
・ シール工法
・ 充填工法
・ モルタル塗替え工法
・ アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 充填工法
・ モルタル塗替え工法
・ 樹脂注入工法
・ Uカットシーリング材充填工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
・ アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ 注入口付アンカーピンニング
・ 部分エポキシ樹脂注入工法
・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法
・ タイル部分張替え工法
・ タイル張替え工法
・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮目地改修工法
・ 薄付け仕上塗材塗り
・ 厚付け仕上塗材塗り
・ 複層仕上塗材塗り
・ 可とう形改修用仕上塗材塗り
・ 各種塗料塗り
・ マスチック塗材塗り

3 改修工法等
(4.2.2)(a)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)

・ 樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
(4.3.4) 注入量 () 注入間隔 ()
(4.4.5) 注入量 () 注入口間隔 ()
(4.5.5) 注入量 () 注入口間隔 ()
材料 エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り個数 ()
・ 抜取り部分補修方法 ()
(4.2.2)(b)
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)

・ Uカットシーリング材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
(・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(c)
(4.3.6)
(4.4.7)

・ シール工法
材料 ・ バテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d)
(4.3.7)
(4.4.8)

・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(g)
(4.4.9)

・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ()
仕上げ厚 ()

(4.2.2)(e)
(4.4.10)
(図4.4.1)

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()

(4.2.2)(e)
(4.4.11)
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()

(4.2.2)(e)
(4.4.12)
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()

(4.2.2)(f)
(4.4.13)
(図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2)(f)
(4.4.14)
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2)(f)
(4.4.15)
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ())
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2)(h)
(4.5.7)

・ タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコーン樹脂 エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂
施工箇所 形状寸法 工法 用途による区分 区分
I 類(磁器) II 類(せっ器) III 類(陶器) 役物 標準・特注色 耐凍害性有無
図面による
・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(h)
(4.5.8)
(表4.5.4)

・ タイル張替え工法
タイルの種類 タイルの大きさ 工法 塗り厚 (mm)
・ 密着張り 5～8
・ 改良積み上げ張り 4～7
・ 改良圧着張り 下地側 4～6
タイル側 3～4
・ ユニットタイル ・ 25mm角を超え小口未満 ・ マスク張り 3～4
・ 小口未満 ・ モザイクタイル貼り 3～5

(4.5.15)

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2)(h)
(4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
(位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

8
の
1

耐震
改修
工事

共通事項

8
つや有合成樹脂
エマルションペ
イント塗り
(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～
(表7.9.4)

9
合成樹脂エマ
ルションペイン
ト塗り (EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)

10
合成樹脂エマ
ルション模様塗
料塗り (EP-T)
(7.11.2)
(表7.11.1)

11
ウレタン樹脂
ワニス塗り (UC)
(7.12.2)
(表7.12.1)

12
ラッカーエナ
メル塗り (LE)
(7.13.2)
(表7.13.1)

13
木造保護塗料
塗り (WP)
(7.15.2)
(表7.15.1)

種別	下地	種別
	コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()
	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
	垂鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種

種別
・ A種 ・ B種 ・ C種
しみ止め ()

種別
・ A種 ・ B種 ・ C種

種別
・ A種 ・ B種

種別
・ A種 ・ B種

種別
・ A種 ・ B種

8
の
2

耐震
改修
工事

撤去
工事

1
(一般事項)
1 適用範囲
(8.1.1)
(8.1.2)

2
既存部分の撤去
等
(8.21.2)
(8.22.2)
(8.23.2)
(8.24.2)

3
(既存部分の処理)
既存構造体コン
クリートの表層
目荒らし
(8.21.3)
(8.22.3)
(8.23.3)

工事内容

- 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
- 鉄骨フレームの設置工事
- 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
- 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
- 柱補強工事 (連続繊維補強工法)
- 耐震スリット新設工事
- 免震改修・制震改修工事

工事種別

- 鉄筋工事
- あと施工アンカー工事
- コンクリート工事
- 鉄骨工事
- グラウト工事
- 連続繊維補強工事
- スリット新設工事
- 免震改修・制震改修工事
- 基礎工事

撤去の範囲

- 図示 (図面番号:)
- 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
- 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
- ()

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置

本工事の範囲

- 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
- 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
- ()

撤去範囲

- 図示 (図面番号:)

既存構造体の撤去

撤去範囲

- 図示 (図面番号:)
- はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

鉄筋の切断	範囲	適用
・既存鉄筋は切断せず残す	・図示 (図面番号:) ・全ての撤去部分 ・ () ・適用なし	
・コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・図示 (図面番号:) ・全ての撤去部分 ・ () ・適用なし	
・コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	

はつりだした鉄筋の処置

- 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
- ()

はつりだした鉄骨の処置

- コンクリート等を除去し鉄面を表す。
- ()

既存構造体コンクリート面の表層目荒らし

目荒らし程度

- 平均深さ5～10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す
- 図示 (図面番号:)

8
の
3

耐震
改修
工事

鉄筋
工事

1
鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

2
溶接金網
(8.2.2)

3
加工
(8.3.2)

4
鉄筋の継手及び
定着
(8.3.4)

5
鉄筋のかぶり厚
さ及び間隔
(8.3.5)

6
各部配筋
(8.3.8)

7
ガス圧接
(8.3.8)

8
割製補強筋
(8.21.6)
(8.22.1)

9
鉄筋の機械式継
手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による

種別	径 (mm)
・ S0295A	
・ S0345	
・ S0390	
・ ()	

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)

90°未満の折曲げの内法直径

- 図示 (図面番号:)

	径	部位
重ね継手	・ D 16 以下	
ガス圧接	・ D 19 以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

- 改修標準仕様書(8.3.4) (c) (1)による
- 図示 (図面番号:)

継手位置

- 各部配筋参考図による
- 図示 (図面番号:)

先組み工法等

- 柱・梁主筋の継手を同一箇所にはける

鉄筋の定着長さ

- 改修標準仕様書(表8.3.4)による
- 図示 (図面番号:)

帯筋組立の形

- 図示 (図面番号:)

軽量コンクリートで土に接する部分

- 無し
- 有り 適用箇所 ()

最小かぶり厚さ () mm

耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等)

- 無し
- 有り 適用箇所 ()

最小かぶり厚さ () mm

図示 (図面番号:)

圧接完了後の試験

超音波探傷試験

- 行う
- 行わない

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・スパイラル筋	・鉄筋コンクリート用 棒鋼	・ R235	・ 6Φ () ・ 9Φ ()	スパイラルの径 (mm) () スパイラルのピッチ (mm) ()	・ 図示 (図面番号:)
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用 棒鋼 (異形鉄筋)	・ 295A	・ 10 () ・ ()	壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	

機械式継手

種類 ()

工法 ()

修正方法 ()

品質の確認方法 ()

鉄筋相互のあき () mm

溶接継手

工法 ()

修正方法 ()

品質の確認方法 ()

鉄筋相互のあき () mm

8
の
4

耐震
改修
工事

コン
クリ
ート
工事

1
(コンクリート工事一
般事項)
1 コンクリートの
種類及び強度
(8.1.3)
(8.1.4)

2
構造体コンクリ
ートの仕上り
(8.1.4)

3
(コンクリート)
3 コンクリートの
材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

コンクリートの種類

- I 類
- II 類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位 容積質量	スラブ
・ 21		・ 2.3t/m ³ 程度	
・ ()			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	種別	適用範囲	気乾単位 容積質量	所要気乾単位 容積質量	スラブ
・ 36	・ 1 類 ・ 2 類				
・ ()					

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別

- A 種
- B 種
- C 種

セメントの種類

- 普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種
- ()
- 高炉セメント B 種又はフライアッシュセメント B 種
- 適用箇所 ()

4
混和材料
(8.2.5)

5
調査管理強度
(8.2.5)
(8.8.3)
(8.10.2)

6
型枠
(8.2.7)
(8.7.8)

7
層中コンクリ
ート
(8.10.2)

8
無筋コンクリ
ート
(8.11.1)

9
(現場打ち鉄筋コン
クリート壁の増設工
事、溶接金網巻き工
法及び溶接閉鎖フ
ープ巻き工法)

10
増設壁工事後の
仕上げ
(8.21.10)
(8.23.7)

骨材

アルカリシリカ反応性による区分

- A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制)
- A (安全と認められる骨材を使用)

なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回／6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。

- 特殊な骨材の使用
- フェロニッケルスラグ細骨材
- 鋼スラグ細骨材
- 電気炉酸化スラグ骨材
- 再生骨材 H

混和剤

混和剤の種類

- 改修標準仕様書(8.2.5) (d) (1)による
- 図示 (図面番号:)

混和材

混和材の種類

- 改修標準仕様書(8.2.5) (d) (2)による
- 図示 (図面番号:)

構造体強度補正值 (S)

- 3 N/mm²
- 6 N/mm²
- ()

材料

- 複合合板 (厚さ ・ 12mm ・ ())

スリーブ

- 改修標準仕様書(8.2.7) (g) (2) (i)による
- 改修標準仕様書(8.2.7) (g) (2) (ii)による
- 材種 () 規格 ()

構造体強度補正值 (S)

- 6 N/mm²
- ()

構造体強度補正值 (S)

- 18 N/mm²
- ()

スラブ

- 15cm
- 18cm
- ()

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8) (a) (1) 及び (b)	・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ ()
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8) (a) (2) 及び (c)	・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ ()
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ ()
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8) (a) (1) 及び (b)	・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ ()
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8) (a) (2) 及び (c)	・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ ()
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示 (図面番号:) ・ ()
柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ 図示 (図面番号:)	・ ()
	・ 図示 (図面番号:)	・ ()
柱頭柱脚の隙間寸法	・ 図示 (図面番号:)	・ ()
	・ 図示 (図面番号:)	・ ()
打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ	・ 図示 (図面番号:)	・ 60mm ・ ()
	・ 図示 (図面番号:)	・ ()

備考

公益財団法人
三重県建設技術センター

Job Title
三重県立看護大学機械棟・講堂棟外壁改修工事

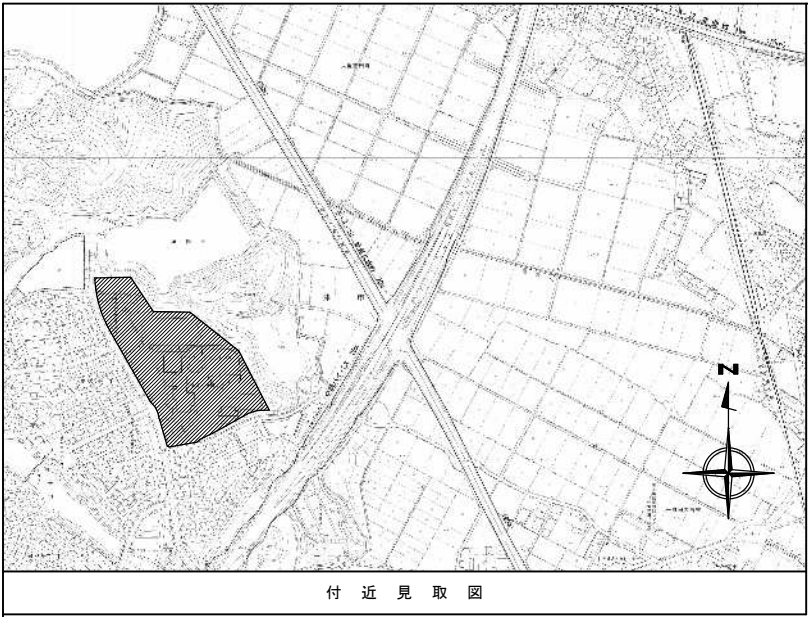
Drawing Title
建築工事特記仕様書 (改修) 5

設計担当者

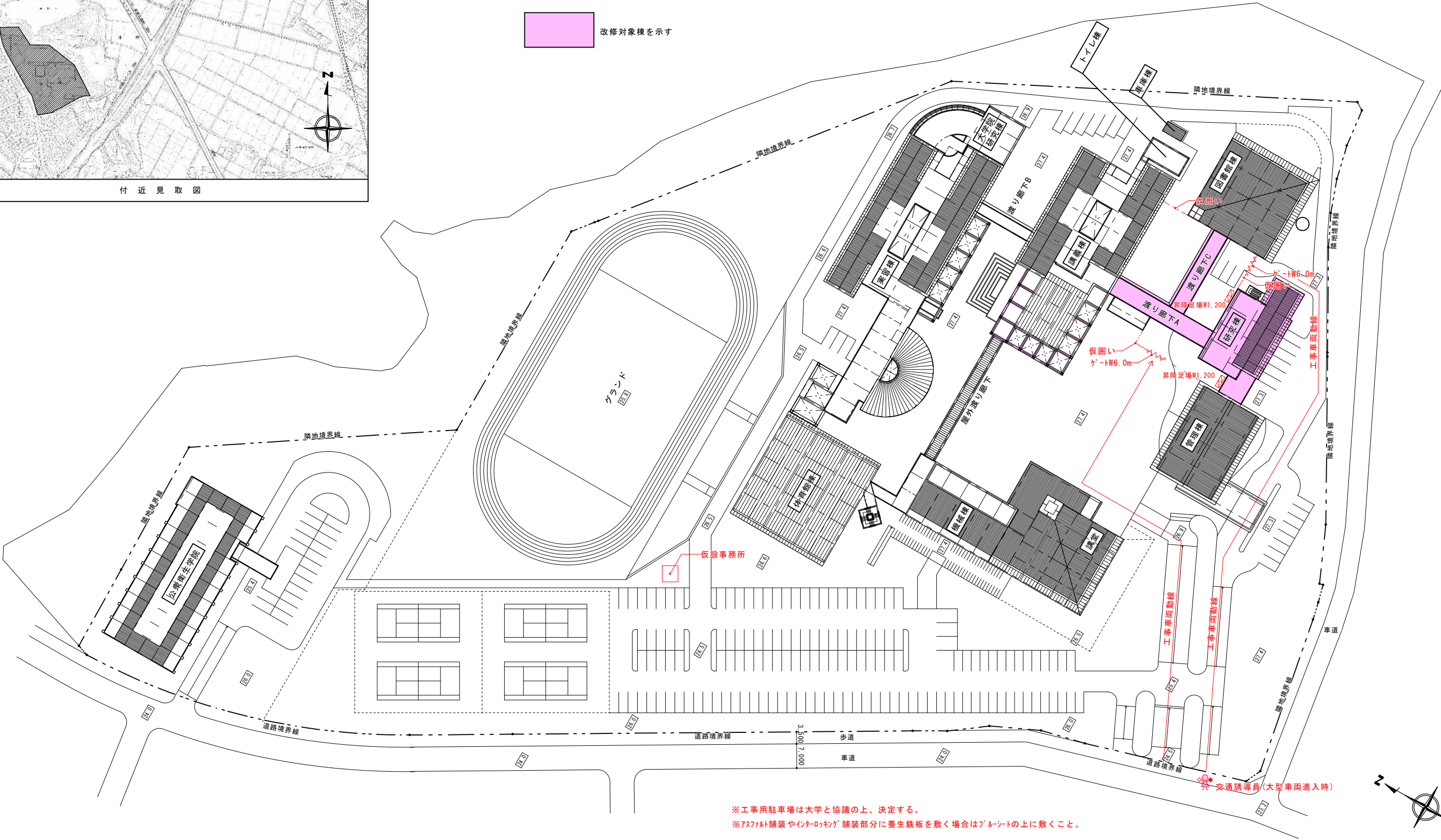
DATE
2025 - 07

SCALE
No Scale

A - 0 5

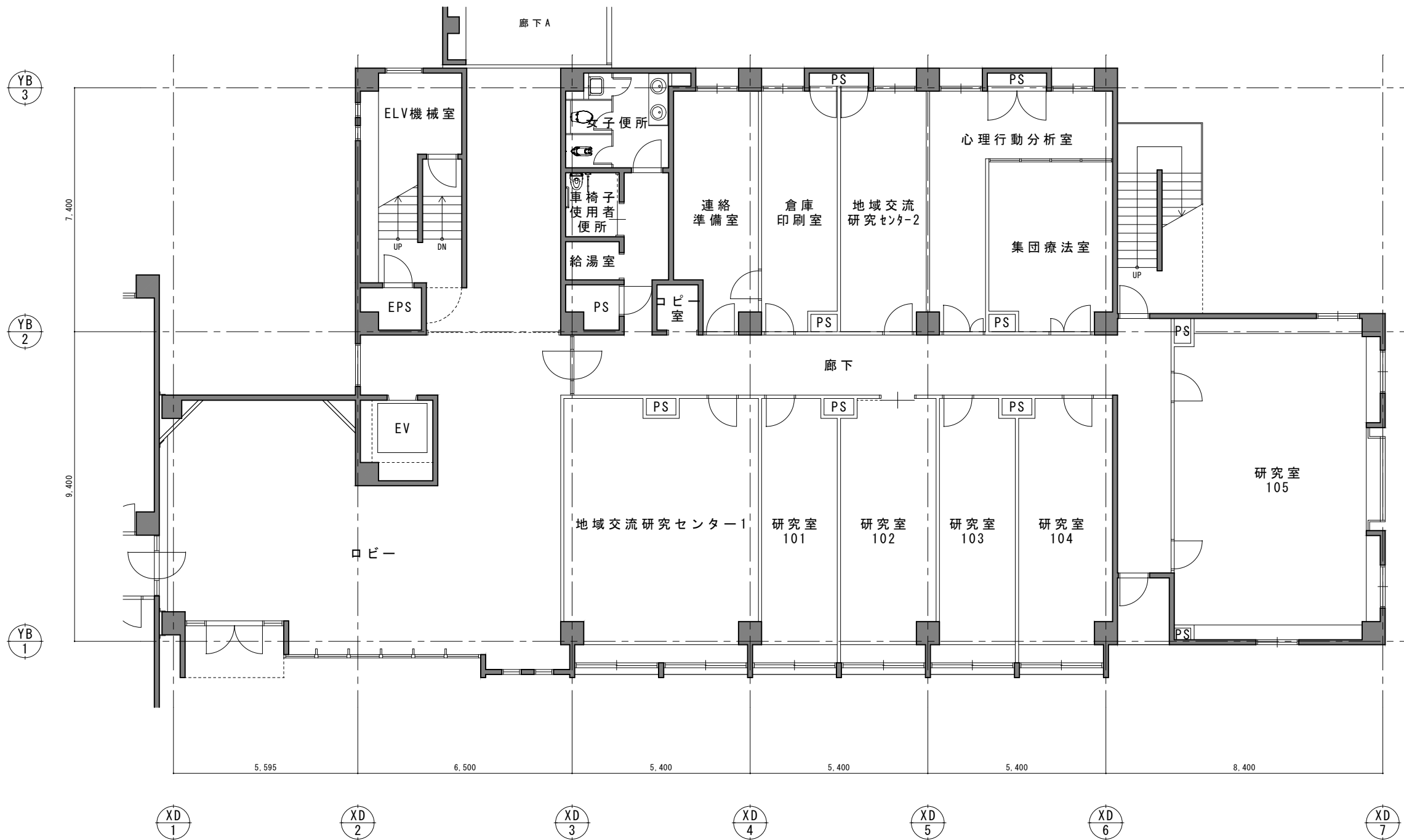


改修対象棟を示す



※工事用駐車場は大学と協議の上、決定する。
※アスファルト舗装やインナーロッキング舗装部分に養生鉄板を敷く場合はブルーシートの上に敷くこと。

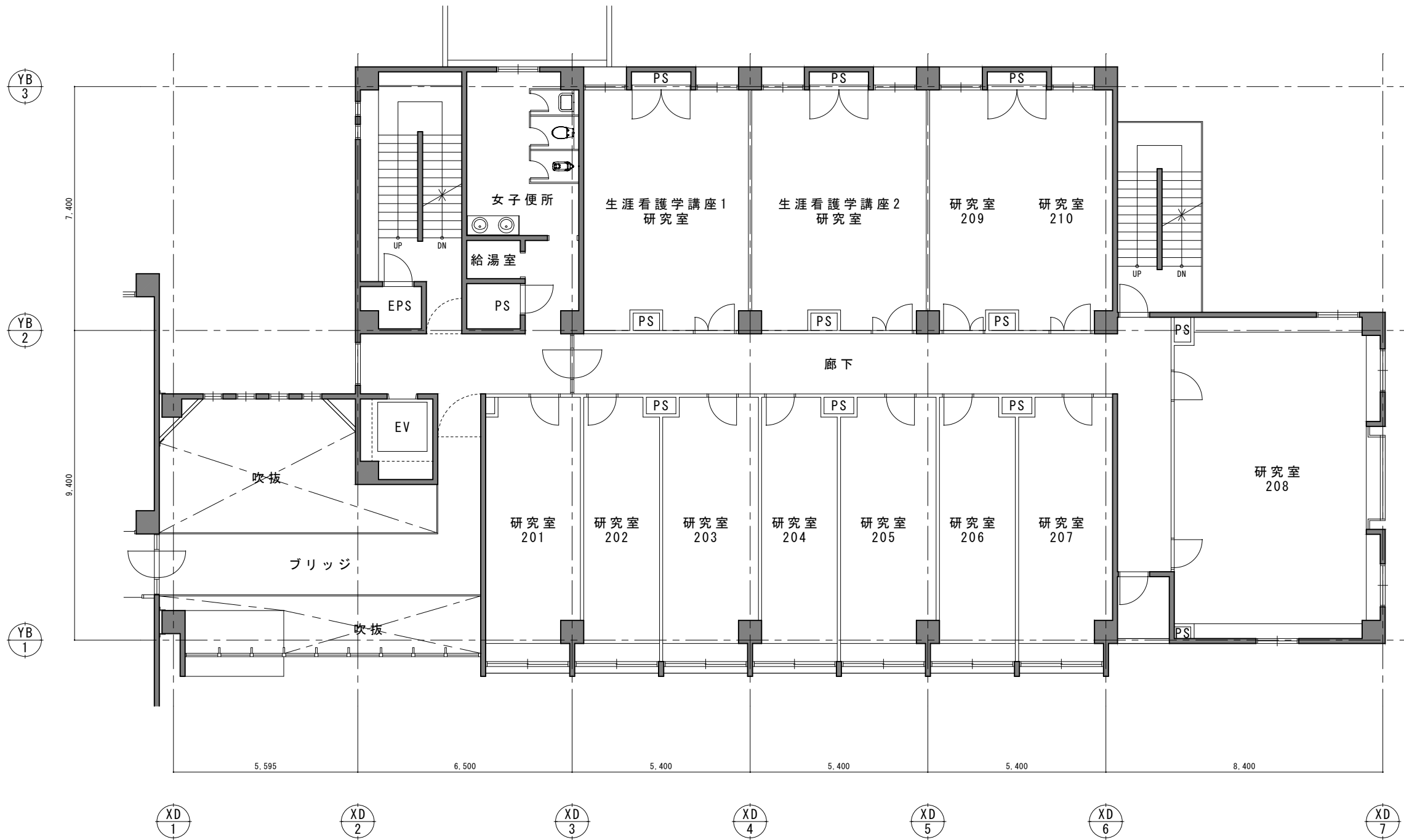
備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title	三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事	DATE	2025 - 07
			Drawing Title	配置図兼仮設計画図(案)	SCALE	A2:1/800 A3:1/1120
			設計担当者			



1 階平面図 S:1/100



備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE 2025 - 07	
			Drawing Title 研究棟 現況 1 階平面図						SCALE A2:1/100 A3:1/141	
			設計担当者						A - 08	

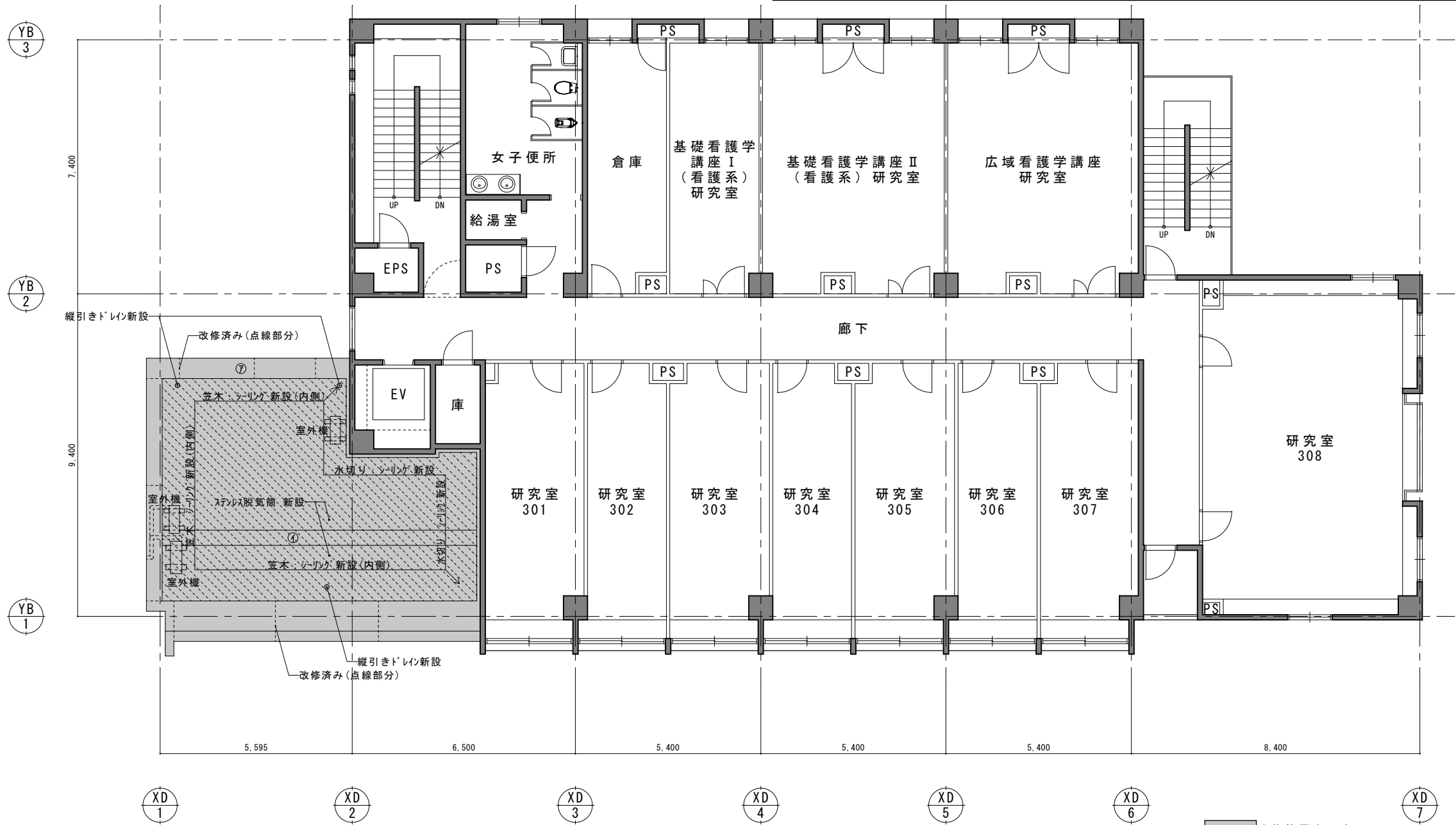


2 階平面図 S:1/100



備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title										DATE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事										2025 - 07																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			Drawing Title										SCALE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			研究棟 現況 2 階平面図										A2:1/100 A3:1/141																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			設計担当者										A-09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

仕上表	改 修 前	改 修 後
屋根	平場、立上り：アスファルト防水（保護コンクリート）現況のまま	平 場：塗膜防水 X-1工法 新設、下地処理 水洗い（高圧ホッパ 10～15Mpa程度）
	伸縮目地シーリング 撤去	立上り：塗膜防水 X-2工法 新設、下地処理 水洗い（高圧ホッパ 10～15Mpa程度）
		ステンレス脱気筒 新設（2ヶ所）
ドレイン	鑄鉄製縦引きドレイン 撤去	縦引き二重ドレイン新設（塩ビ製）
アルミ笠木	笠 木：立上り（内側） シーリング 撤去	笠 木：立上り（内側） シーリングMS-2 15x10 新設
水切り	水切り：立上り シーリング 撤去	水切り：立上り シーリングMS-2 15x10 新設
空調室外機	一時取外し（機械設備工事）	再設置（機械設備工事）

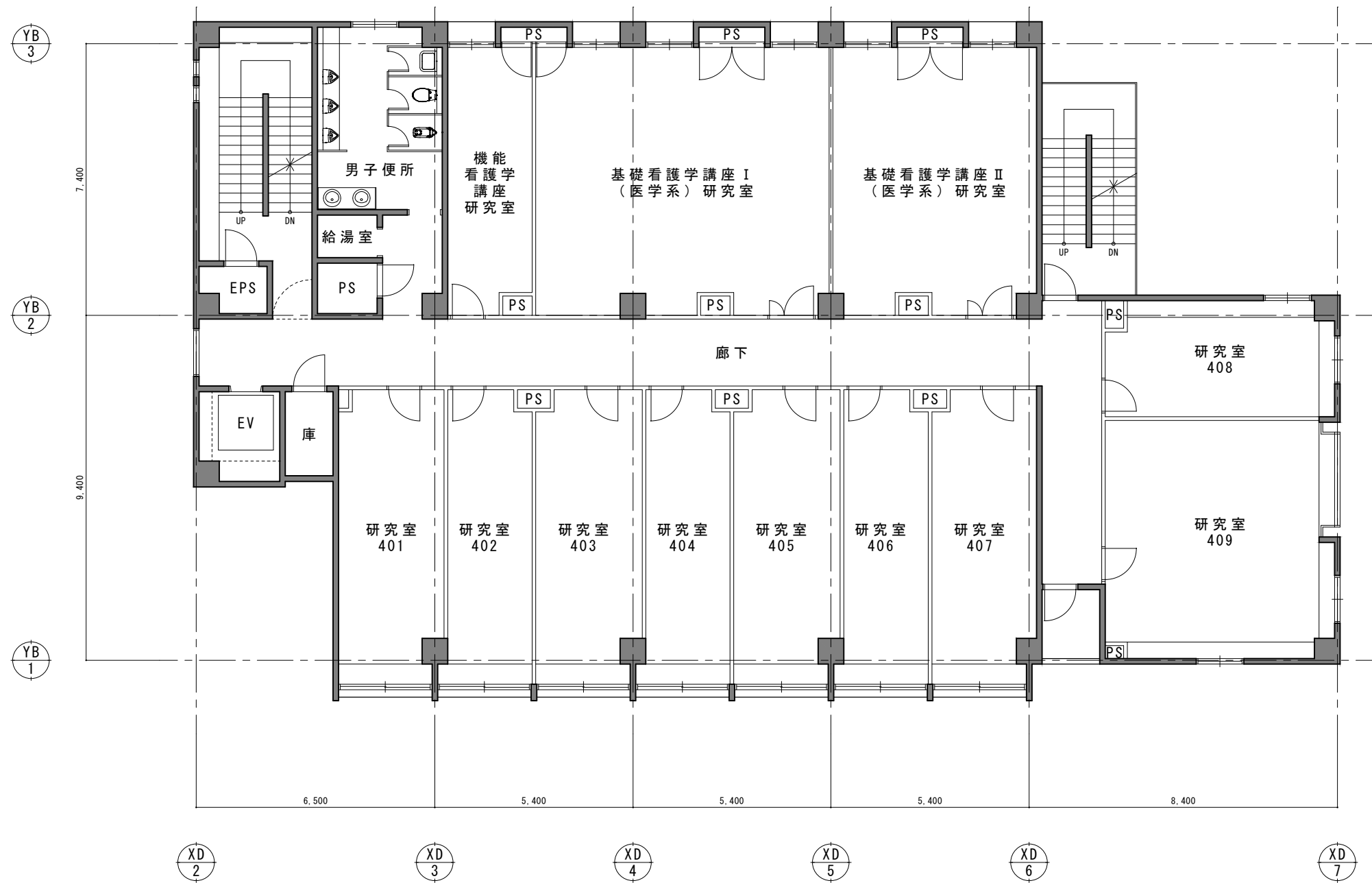


3階平面図 S:1/100

改修範囲を示す。

- 屋根：平面 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-1工法 新設
立上り 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法 新設
- ・ ステンレス脱気筒（2ヶ所）
 - ・ ドレイン：縦引き二重ドレイン新設（塩ビ製）（2ヶ所）

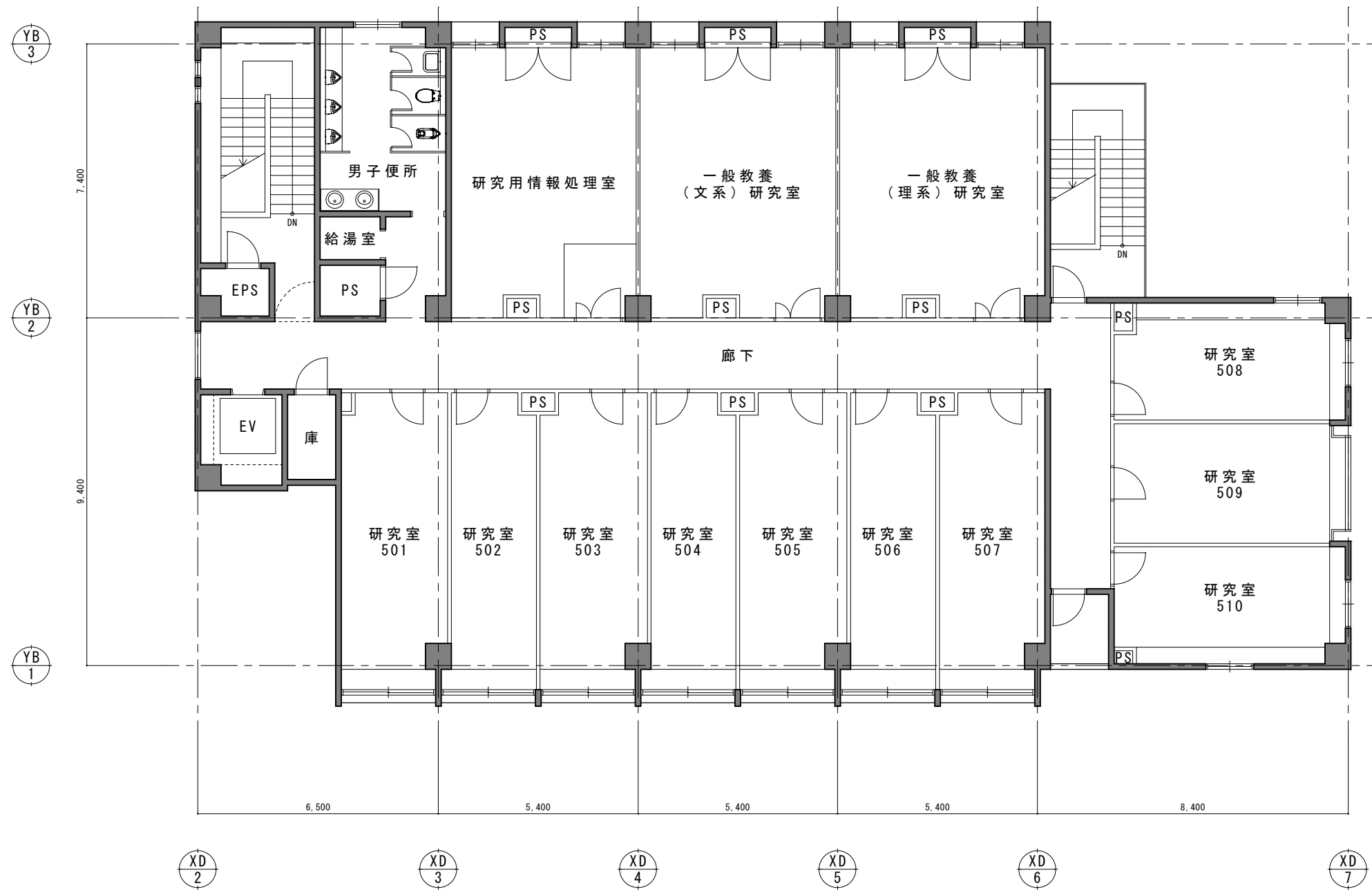
備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title	三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事	DATE	2025 - 07
			Drawing Title	研究棟 改修後 3階平面図	SCALE	A2:1/100 A3:1/141
			設計担当者			A-11



4 階平面図 S:1/100



備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE 2025 - 07	
			Drawing Title 研究棟 現況 4 階平面図						SCALE A2:1/100 A3:1/141	
			設計担当者						A - 12	

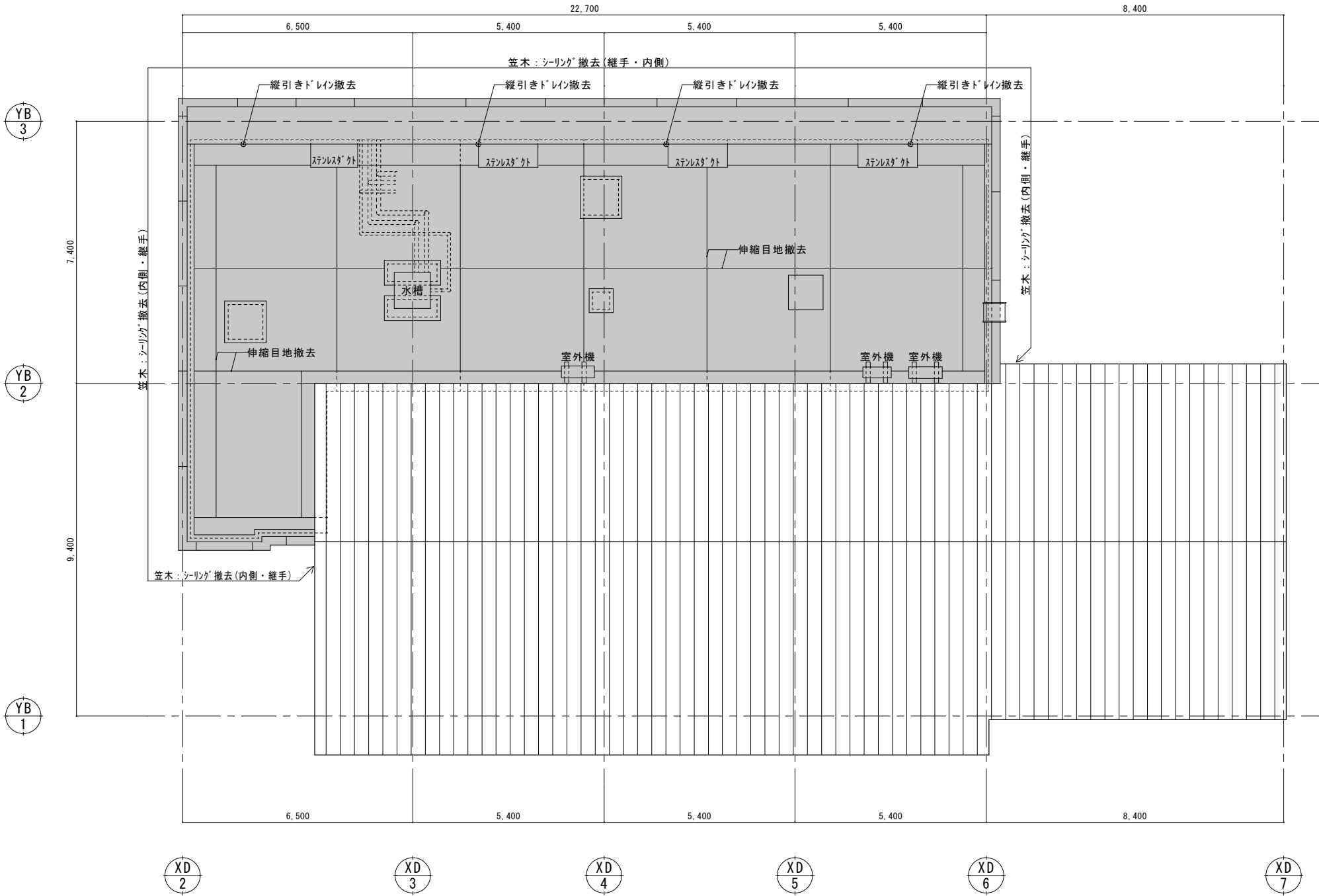


5階平面図 S:1/100



備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE 2025 - 07	
			Drawing Title 研究棟 現況 5 階平面図						SCALE A2:1/100 A3:1/141	
			設計担当者						A - 13	

仕上表	改 修 前	改 修 後
屋根	平場、立上り：アスファルト防水（保護コンクリート）現況のまま	平 場：塗膜防水 X-1工法 新設、下地処理 水洗い（高圧ホシホ 10～15Mpa程度）
	伸縮目地シーリング 撤去	立上り：塗膜防水 X-2工法 新設、下地処理 水洗い（高圧ホシホ 10～15Mpa程度）
		ステンレス脱気筒 新設（4ヶ所）
ドレイン	鋳鉄製縦引きドレイン 撤去	縦引き二重ドレイン新設（塩ビ製）
アルミ笠木	笠 木：継手・立上り（内側） シーリング 撤去	笠 木：継手・立上り（内側） シーリングMS-2 15x10 新設
水切り	水切り：立上り シーリング 撤去	水切り：立上り シーリングMS-2 15x10 新設
空調室外機	一時取外し（機械設備工事）	再設置（機械設備工事）



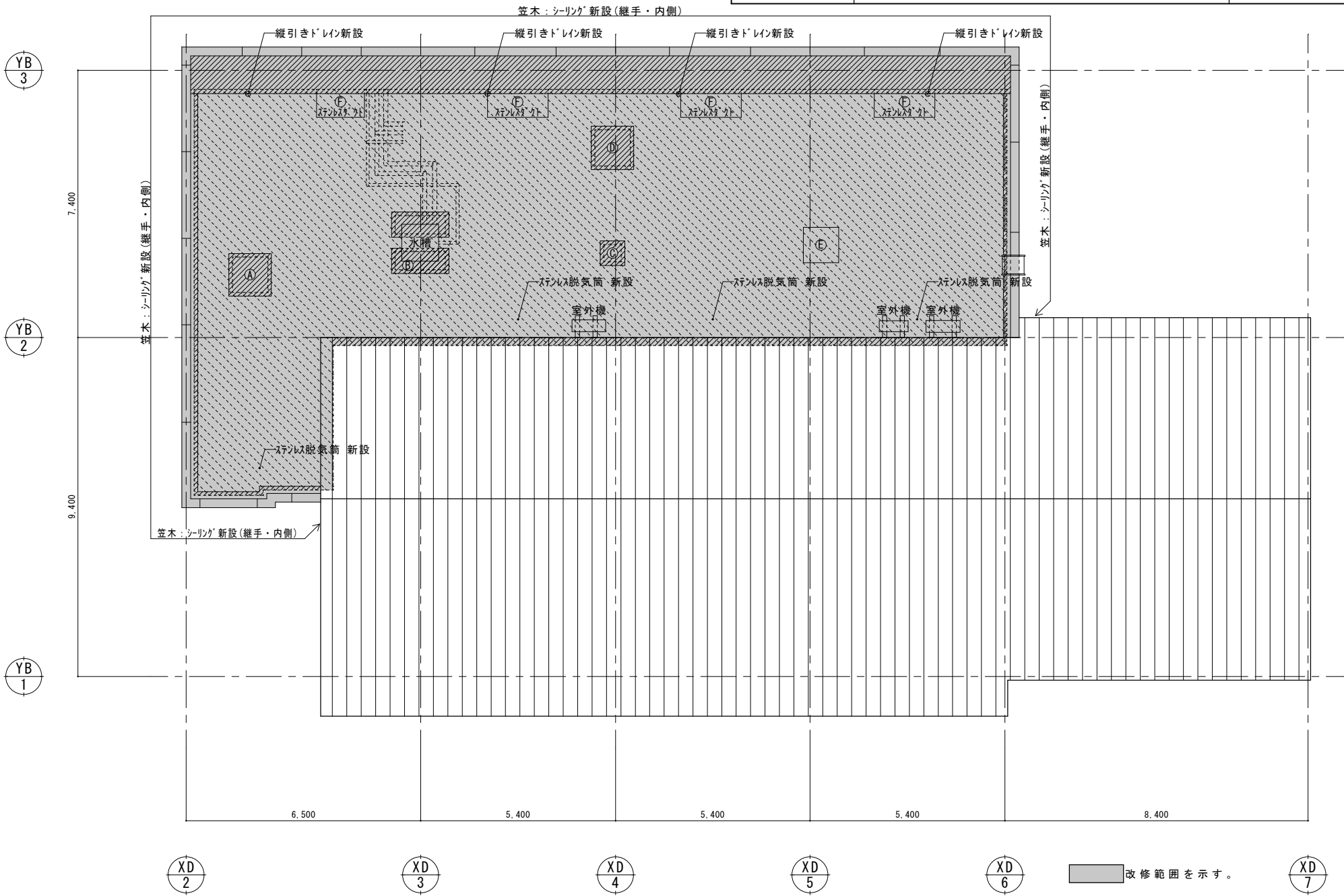
屋根伏図 S:1/100

改修範囲を示す。

伸縮目地撤去部分：伸縮目地処理 シーリング

備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title										DATE		
			三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事										2025 - 07		
			Drawing Title										SCALE		
			研究棟 改修前 屋根伏図										A2:1/100 A3:1/141		
			設計担当者										A - 14		

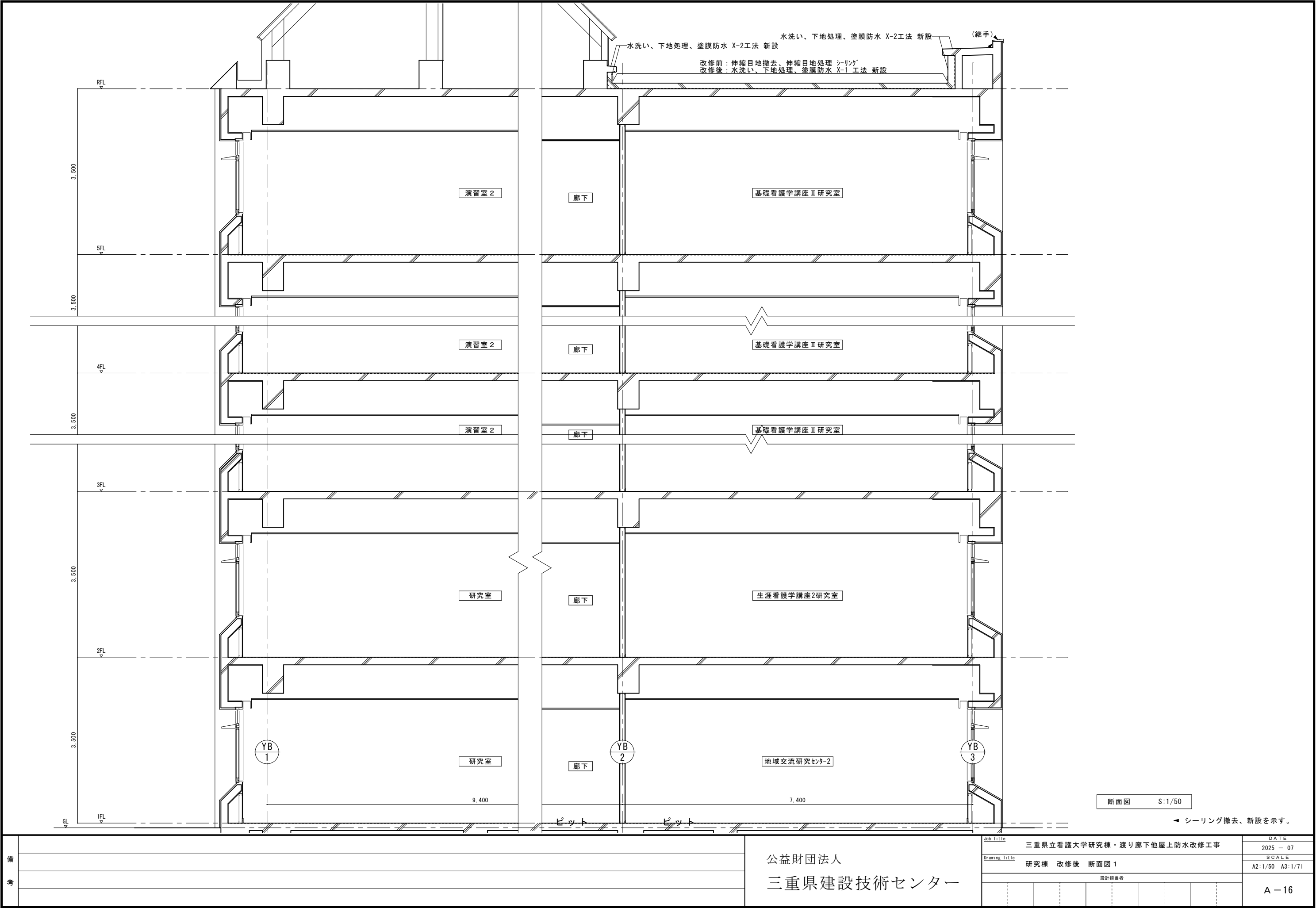
仕上表	改 修 前	改 修 後
屋根	平場、立上り：アスファルト防水（保護コンクリート）現況のまま	平 場：塗膜防水 X-1工法 新設、下地処理 水洗い（高圧ホシホ 10～15Mpa程度）
	伸縮目地シーリング 撤去	立上り：塗膜防水 X-2工法 新設、下地処理 水洗い（高圧ホシホ 10～15Mpa程度）
		ステンレス脱気筒 新設（4ヶ所）
ドレイン	鑄鉄製縦引きドレイン 撤去	縦引き二重ドレイン新設（塩ビ製）
アルミ笠木	笠 木：継手・立上り（内側） シーリング 撤去	笠 木：継手・立上り（内側） シーリングMS-2 15x10 新設
水切り	水切り：立上り シーリング 撤去	水切り：立上り シーリングMS-2 15x10 新設
空調室外機	一時取外し（機械設備工事）	再設置（機械設備工事）



屋根伏図 S:1/100

- 改修範囲を示す。
- 屋根：平面 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-1工法新設
立上り 水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法新設
- 架台・天端：水洗い、下地処理、塗膜防水 X-2工法新設
- ステンレス脱気筒（4ヶ所）
 - ドレイン：縦引き二重ドレイン新設（塩ビ製）（4ヶ所）

備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title										DATE		
			三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事										2025 - 07		
			Drawing Title										SCALE		
			研究棟 改修後 屋根伏図										A2:1/100 A3:1/141		
			設計担当者										A - 15		

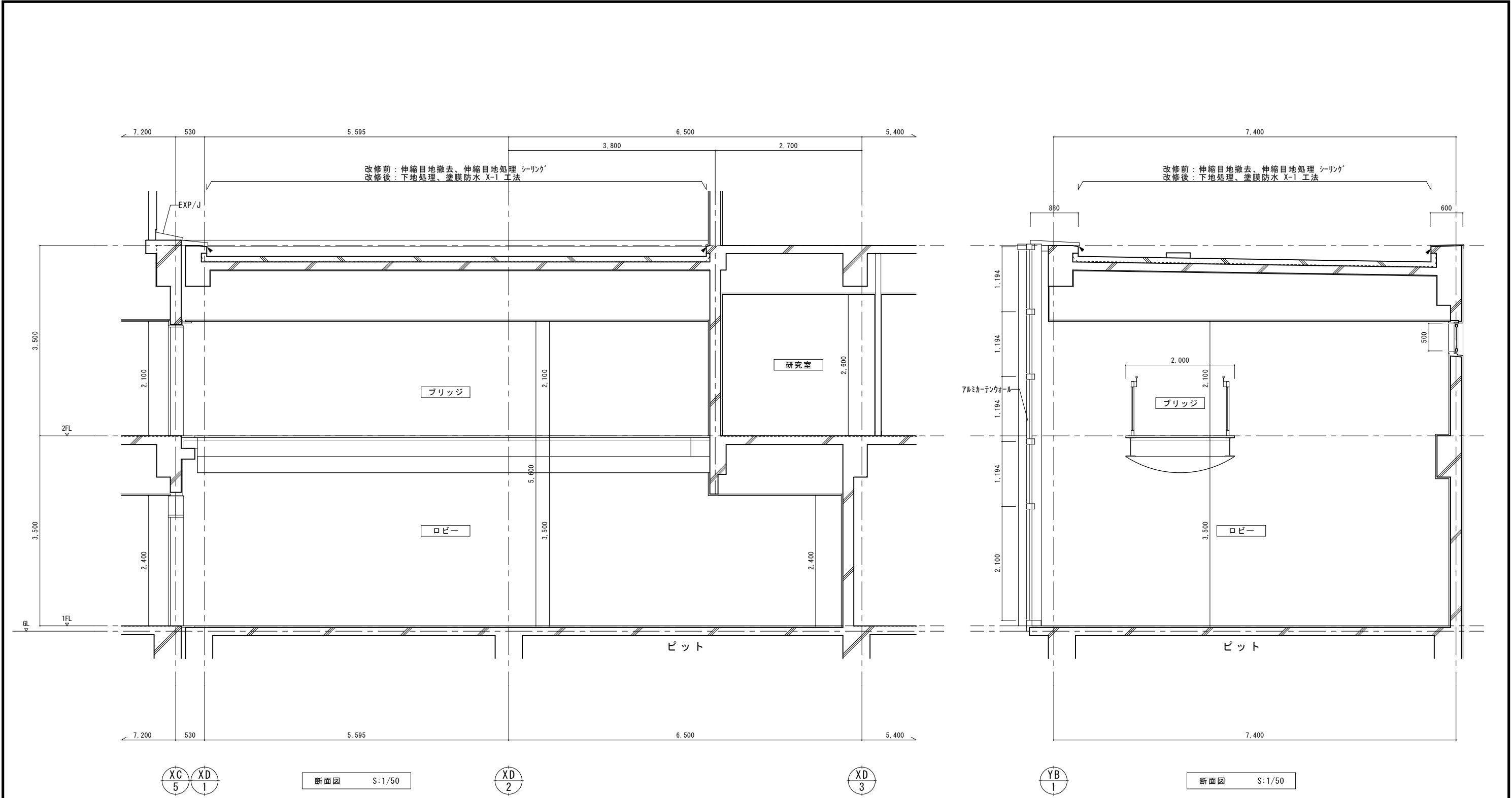


備考	

公益財団法人
三重県建設技術センター

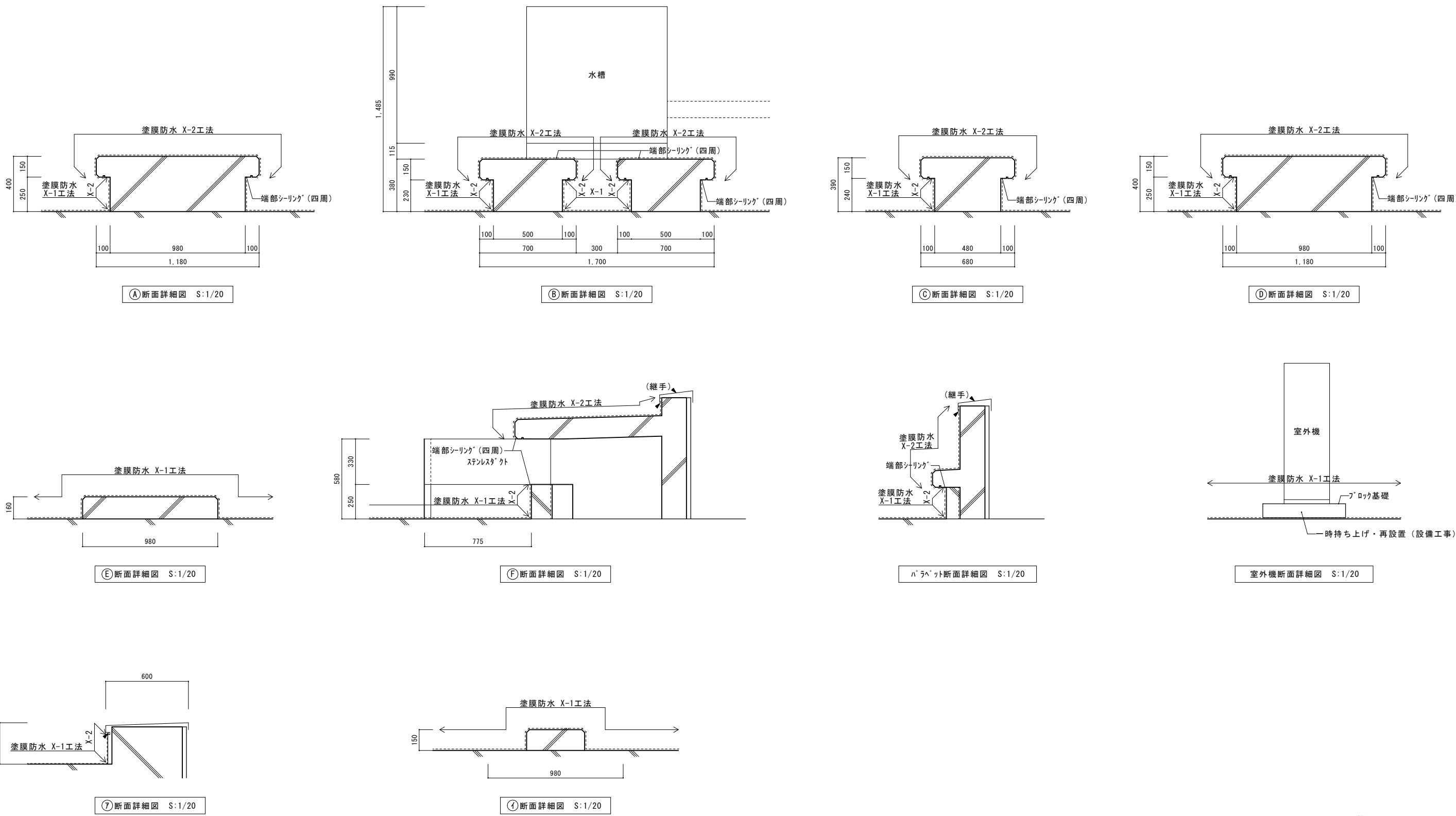
Job Title	三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事
Drawing Title	研究棟 改修後 断面図 1
設計担当者	

DATE	2025 - 07
SCALE	A2:1/50 A3:1/71
	A - 16



◀ シーリング撤去、新設を示す。

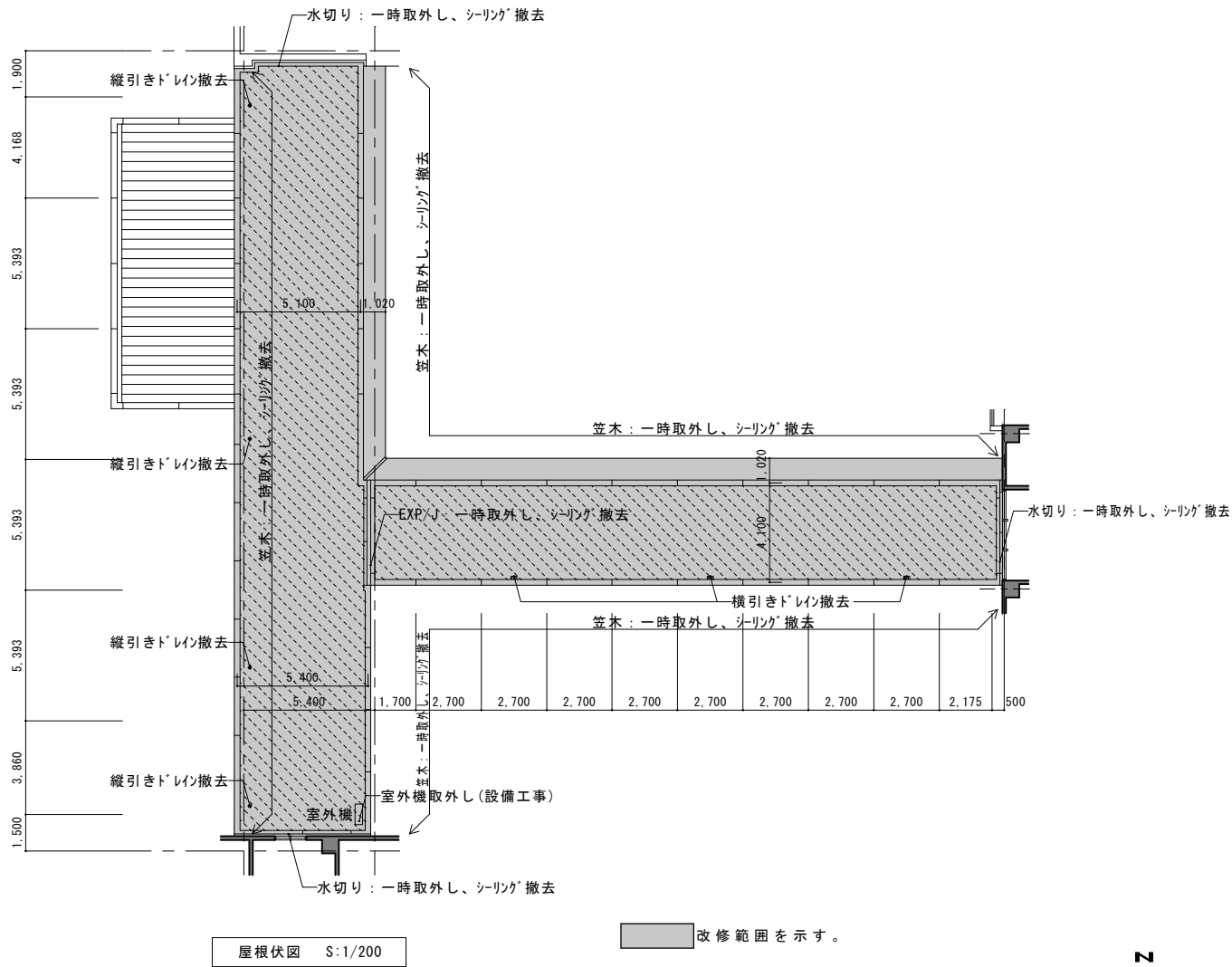
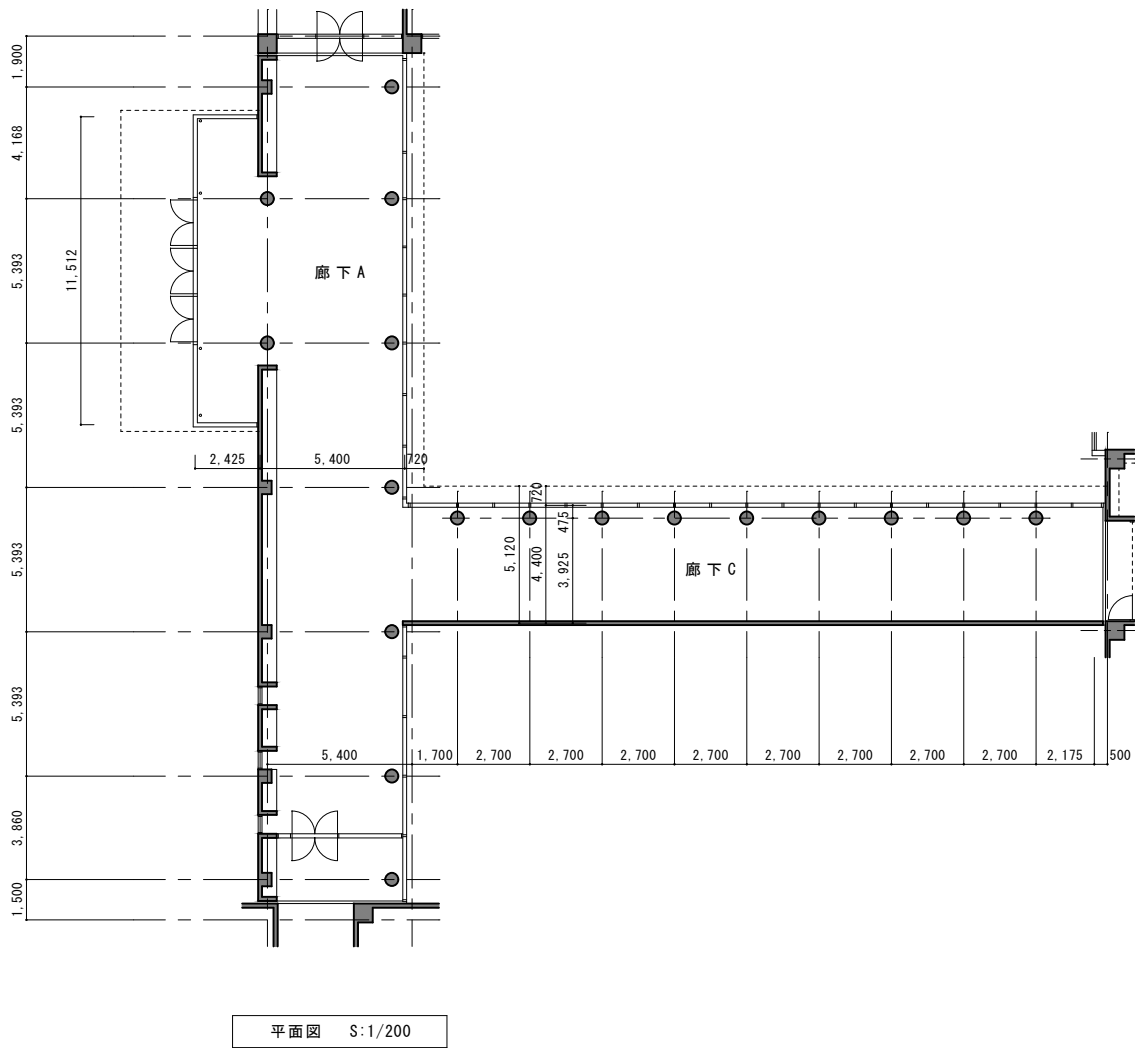
備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title	三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事					DATE
			Drawing Title	研究棟 改修後 断面図 2					2025 - 07
			設計担当者					SCALE	A2:1/50 A3:1/71
									A - 17



◀ シーリング撤去、新設を示す。

備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title 三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事 Drawing Title 研究棟 改修後 部分詳細図	DATE 2025 - 07 SCALE A2:1/20 A3:1/28
			設計担当者	A - 18

仕上表	改 修 前	改 修 後
屋根	平 場：アスファルト露出防水撤去	平 場：塗膜防水 X-1工法 新設、下地処理 水洗い(高圧ホッパ 10～15Mpa程度)
	立上り：アスファルト露出防水撤去	立上り：塗膜防水 X-2工法 新設、下地処理 水洗い(高圧ホッパ 10～15Mpa程度)
		※既存防水撤去後、仮防水を行うこと。
		ステンレス脱気筒 新設 (4ヶ所)
ド레인	铸铁製縦引きド레인 撤去	縦引き二重ド레인新設 (塩ビ製)
	铸铁製横引きド레인 撤去	横引き二重ド레인新設 (塩ビ製)
アルミ笠木	笠 木：一時取外し	笠 木：再取付
	外壁取合い・継手：シーリング 撤去	外壁取合い・継手：シーリングMS-2 15x10 新設
水切り	水切り：一時取外し	水切り：再取付
	外壁取合い・継手：シーリング 撤去	外壁取合い・継手：シーリングMS-2 15x10 新設
EXP/J	EXP/J：一時取外し	EXP/J：再取付
	外壁取合い・継手：シーリング 撤去	外壁取合い・継手：シーリングMS-2 15x10 新設
空調室外機	一時取外し (機械設備工事)	1階へ移設、取付 (機械設備工事)

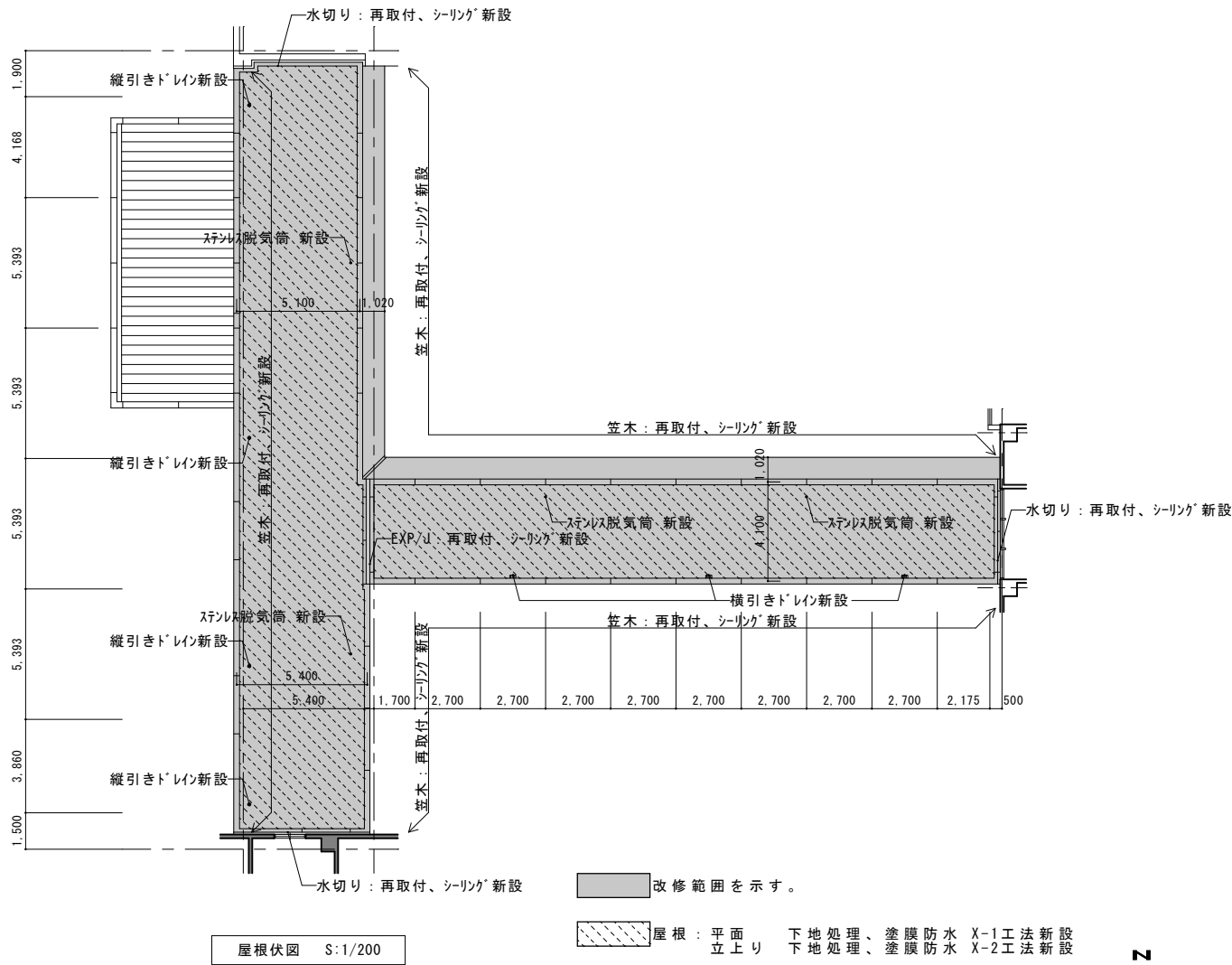
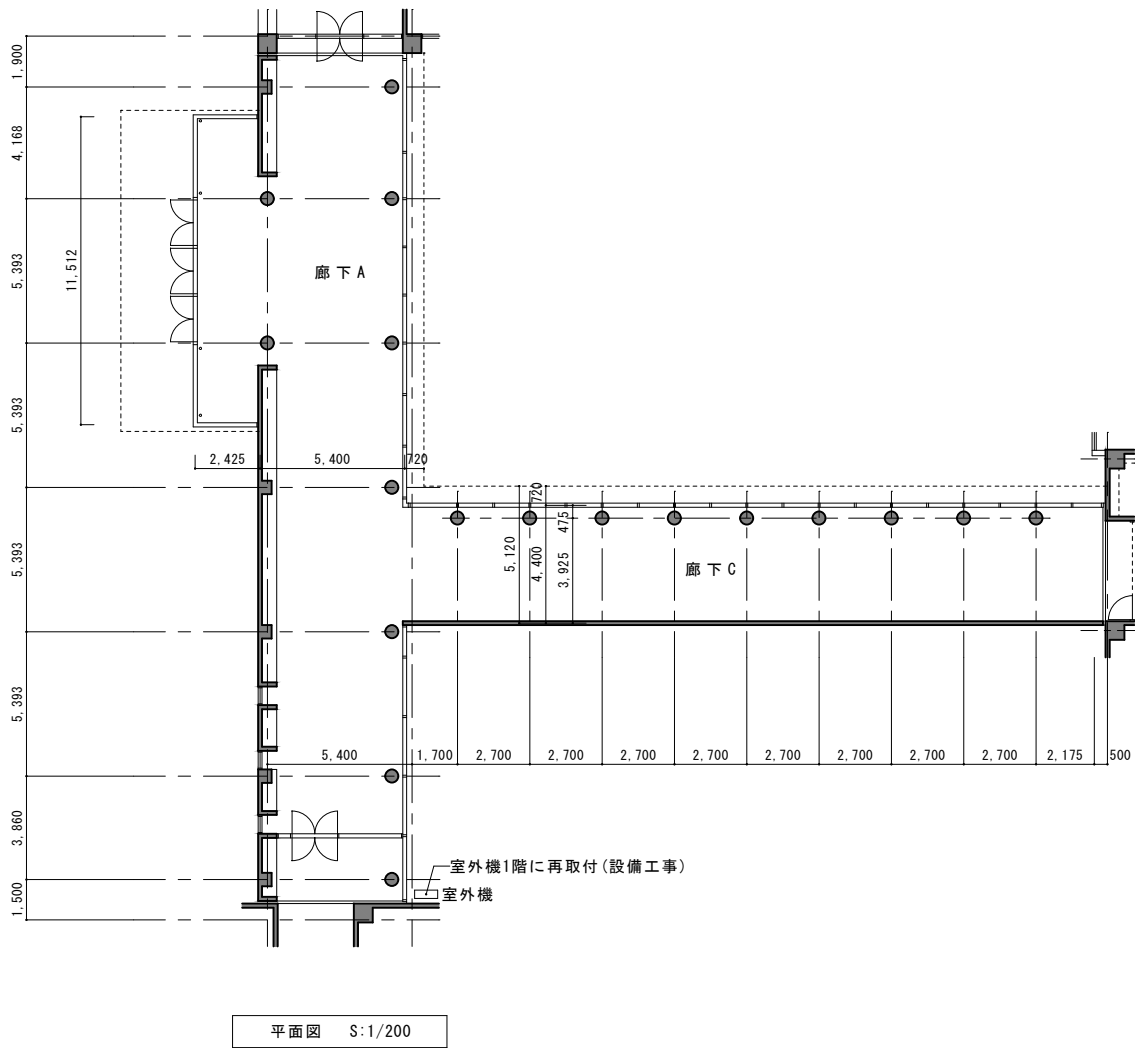


- 改修範囲を示す。
- 屋根：平面・立上り アスファルト露出防水撤去
- ド레인：縦引きド레인撤去
 - ド레인：横引きド레인撤去



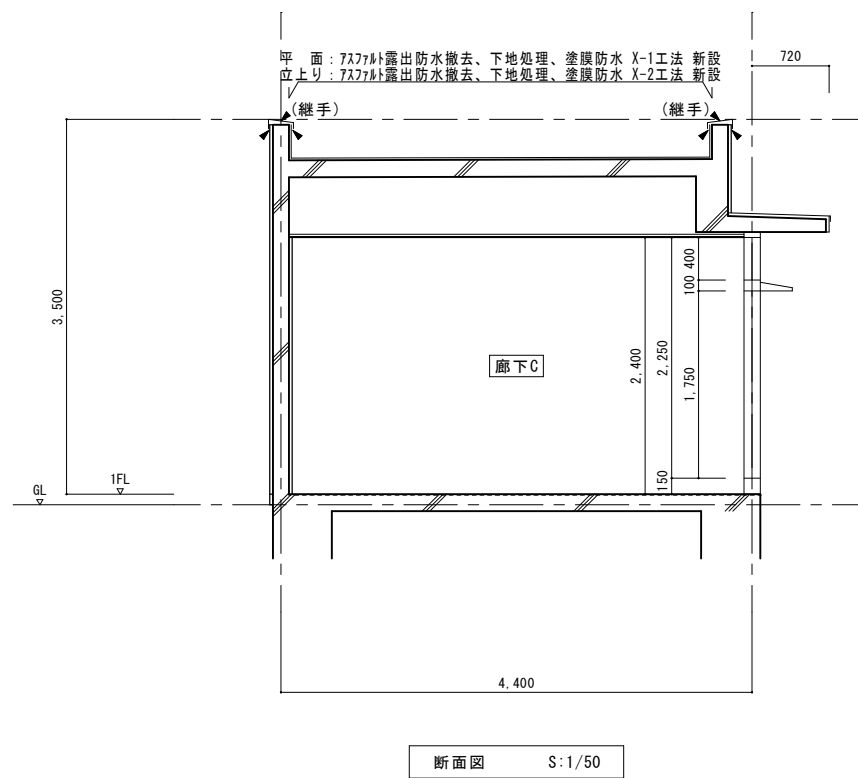
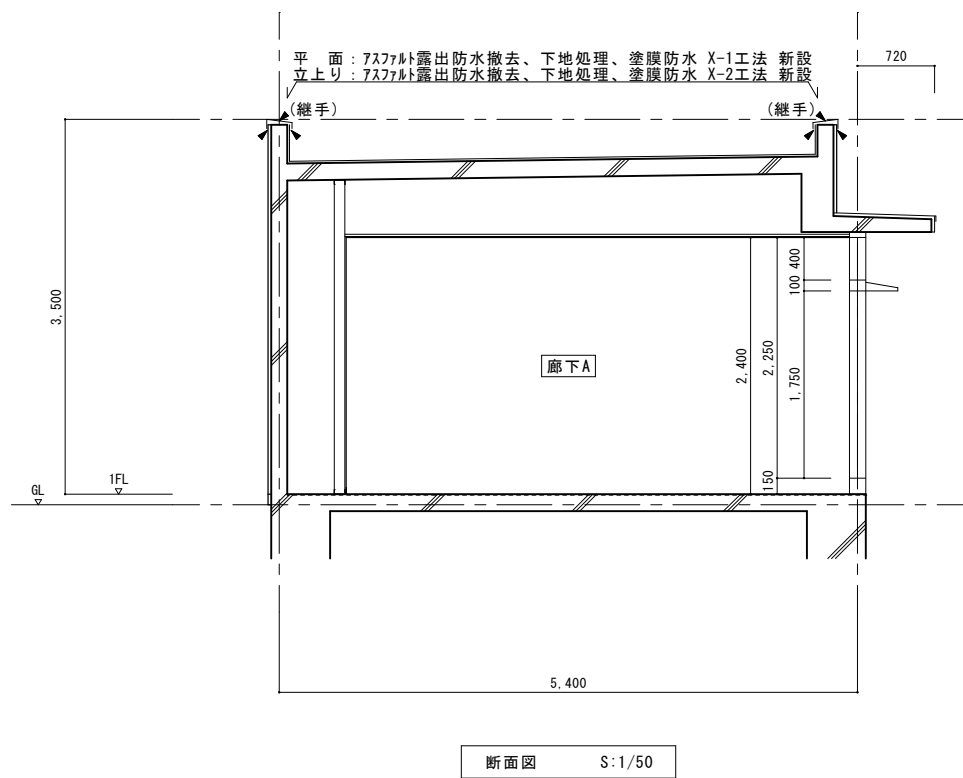
備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	<table><tr><td colspan="2">Job Title</td><td colspan="6">三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事</td><td colspan="2">DATE</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="6"></td><td colspan="2">2025 - 07</td></tr><tr><td colspan="2">Drawing Title</td><td colspan="6">渡り廊下 A、C 改修前 平面図</td><td colspan="2">SCALE</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="6"></td><td colspan="2">A2:1/200 A3:1/282</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="10">設計担当者</td><td colspan="2" rowspan="2">A - 19</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="10"><table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr></table>										Job Title		三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE										2025 - 07		Drawing Title		渡り廊下 A、C 改修前 平面図						SCALE										A2:1/200 A3:1/282				設計担当者										A - 19				<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																					
	Job Title		三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE																																																																																	
									2025 - 07																																																																																	
	Drawing Title		渡り廊下 A、C 改修前 平面図						SCALE																																																																																	
								A2:1/200 A3:1/282																																																																																		
		設計担当者										A - 19																																																																														
		<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																								

仕上表	改 修 前	改 修 後
屋根	平 場：アスファルト露出防水撤去	平 場：塗膜防水 X-1工法 新設、下地処理 水洗い(高圧ホッパ 10～15Mpa程度)
	立上り：アスファルト露出防水撤去	立上り：塗膜防水 X-2工法 新設、下地処理 水洗い(高圧ホッパ 10～15Mpa程度)
		※既存防水撤去後、仮防水を行うこと。
		ステンレス脱気筒 新設 (4ヶ所)
ドレイン	铸铁製縦引きドレイン 撤去	縦引き二重ドレイン新設 (塩ビ製)
	铸铁製横引きドレイン 撤去	横引き二重ドレイン新設 (塩ビ製)
アルミ笠木	笠 木：一時取外し	笠 木：再取付
	外壁取合い・継手：シーリング 撤去	外壁取合い・継手：シーリングMS-2 15x10 新設
水切り	水切り：一時取外し	水切り：再取付
	外壁取合い・継手：シーリング 撤去	外壁取合い・継手：シーリングMS-2 15x10 新設
EXP/J	EXP/J：一時取外し	EXP/J：再取付
	外壁取合い・継手：シーリング 撤去	外壁取合い・継手：シーリングMS-2 15x10 新設
空調室外機	一時取外し (機械設備工事)	1 階へ移設、取付 (機械設備工事)



- ステンレス脱気筒 (4ヶ所)
- ドレイン：縦引き二重ドレイン新設 (塩ビ製) (4ヶ所)
- ドレイン：横引き二重ドレイン新設 (塩ビ製) (3ヶ所)

備 考		公益財団法人 三重県建設技術センター	<table><tr><td colspan="2">Job Title</td><td colspan="6">三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事</td><td colspan="2">DATE</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="6"></td><td colspan="2">2025 - 07</td></tr><tr><td colspan="2">Drawing Title</td><td colspan="6">渡り廊下 A、C 改修後 平面図</td><td colspan="2">SCALE</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="6"></td><td colspan="2">A2:1/200 A3:1/282</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="10">設計担当者</td><td colspan="2" rowspan="2">A - 20</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										Job Title		三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE										2025 - 07		Drawing Title		渡り廊下 A、C 改修後 平面図						SCALE										A2:1/200 A3:1/282				設計担当者										A - 20												
	Job Title		三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE																																																																				
									2025 - 07																																																																				
	Drawing Title		渡り廊下 A、C 改修後 平面図						SCALE																																																																				
								A2:1/200 A3:1/282																																																																					
		設計担当者										A - 20																																																																	



◀ シーリング撤去、新設を示す。



備考		公益財団法人 三重県建設技術センター	Job Title	三重県立看護大学研究棟・渡り廊下他屋上防水改修工事						DATE
			Drawing Title	渡り廊下 改修後 断面図						2025 - 07
			設計担当者						SCALE	A2:1/50 A3:1/71
									A - 21	